平成24年3月6日

各　　位

会 社 名　　大同メタル工業株式会社
代表者名　　代表取締役会長兼最高経営責任者　判治　誠吾
（コード：7245　東証一部、名証一部）
問合せ先　　取締役常務兼上席執行役員
経営・財務企画ユニット長 兼 人事企画ユニット長
佐々木　利行
（ＴＥＬ．052-205-1401）

当社連結子会社のエヌデーシー株式会社（習志野工場）における汚染水浸透事故について

平成２４年２月２３日付「犬山事業所における汚染水の浸透事故発生について」にてお知らせいたしましたが、当社犬山事業所（所在地：愛知県犬山市）内における汚染水の浸透事故発生を受けて、グループ全体で点検を進めていたところ、当社連結子会社であるエヌデーシー株式会社の習志野工場（所在地：千葉県習志野市）におきまして、同工場敷地内の埋設配管から、金属物質を含むメッキ処理後の汚染水が地中に浸透している事実が判明いたしました。

本件に関し、下記のとおりご報告いたします。

記

１．発見日

平成２４年３月５日（月）

２．発生場所

当社連結子会社　エヌデーシー株式会社　習志野工場　　千葉県習志野市実籾２丁目３９番１号

３．概要及び発生原因（想定）

平成２４年３月５日、エヌデーシー株式会社習志野工場に設置しているメッキ装置と排水処理設備を結ぶ配管から、重金属を含むメッキ処理後の汚染水（＊）の一部が地中に浸透している事実が発見され、本日、関連法規に基づき、エヌデーシー株式会社より、習志野市、千葉県に報告を行いました。

事故の内容は、２月１５日に通常のめっき排水の他にイオン交換廃液（２５トン）を当該配管設備を通じ貯蔵槽へ輸送した際に、配管ジョイント部から漏れが発生したものと推察しています。２月１５日（水）から３月４日（日）までの間に浸透した汚染水は最大で約３，１２０リットルと想定されます。

事故の原因は現在調査中でありますが、配管の経年変化及び最近発生した地震（３月１日）の影響もあると推察しております。

＊ ご参考：汚染水には、鉛、フッ素、ホウ素等の重金属を含んでおります。

４．被害の状況

事故発見後、直ちに汚染拡散防止策を講じており、現時点では汚染水の漏出は完全に停止しております。

当社の調査では、現時点で敷地外への浸透は確認されておりませんが、習志野市、千葉県等の監督官庁のご指導を頂きながら、引続き調査・対応を進めてまいります。

５．当社を含むグループ会社の施設・設備について

当社を含むグループ会社の施設・設備（配管も含む）につきましても総点検を行っておりますが、現在のところ異常は確認されておりません。

６．業績への影響について

今回の事故による当社グループ業績への影響につきましては、現時点では不明でありますが、今後業績に重大な影響を与えると判明した場合には速やかにお知らせいたします。

地域住民の皆様をはじめ、関係者の皆様に多大なご心配とご迷惑をお掛けいたしましたことを深くお詫び申し上げますとともに、今後、この様な事故が発生しないよう再発防止に万全を期してまいります。

以　上